

釧路市男女平等参画センター（ふらっと）

開催日時	平成 29 年 10 月 25 日(水) 10:00～11:13
会 場	会議室 4
参加人数	4 人
出席議員	秋田慎一 副議長 酒巻勝美 議員（議会運営委員会委員長、総務文教常任委員会委員） 畑中優周 議員（経済建設常任委員会委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員、水道事業審査特別委員会委員長） 続木敏博 議員（民生福祉常任委員会委員、都心部市街地整備特別委員会委員、） 松尾和仁 議員（議会広報特別委員会委員長：司会）

質 問	議会中の議員の質問に対する理事者の答弁として、「検討します」という答弁が多いが、その後どうなったのかがわからない。質問した議員がそれぞれ担当部署と打合せ等をして進めていると思うが、議会だよりだけを見ると「検討します」で終わっているように見える。その後の取り組みなどについて教えてほしい。
秋田副議長	理事者から「検討する」という答弁があったときは、また次の議会で再度質問をしたり、担当部局に確認したりしている。事業を起こすとすると予算が必要であり、結果が出るのに5年も6年もかかることもあった。9月定例会の概要だけを見ると経過がわからないと思うが、今後も続けて議会だよりなどを見てほしい。 また、議会だよりの一般質問の質疑内容は一人1項目しか載らないが、本会議では一人3～10項目程度の質問をしている。各議員個人においてもブログやフェイスブックなどのSNSで議員活動の内容を発信しており、それらも見ていただきたい。今後も市民の皆さんに対し自分が質問した内容についての経過をお知らせしていきたい。

意 見	防災関係について、避難所運営は市、行政がやってくれるだろう、自分は避難所に行って指示に従えばいいだろう、という考えの市民が多い。小規模な災害で避難所が開設されたときは市職員がしっかり動ける体制であり、丁寧な対応をしてくれたが、大規模な災害があったときに市職員が同じように対応するのは難しいと思う。避難所は地域住民が運営することになっているが、市民の意識は低いと感じており、市民への周知が足りないのではないかと。市職員が来なかったとき
-----	--

	の避難所設営は、地域住民が自分たちでやるということを周知してほしい。
酒巻議員	担当部署へしっかり伝えるとともに、そのようなことが起こらないように取り組んでいきたい。

意見	町内会の役割やまちづくりについて、町内会だけではなく、他にも住民の力の引き出し方があるのではないか。年代によっても違うが、60代以上の市民は無報酬でまちづくりに参加している。20～40代は複合的な事情が重なり、地域活動への参加について考え方が変わってきていると思う。社会教育も薄くなってきていると感じるが、若い世代の意識をどうもっていくのか、昔のようにはならないと思うが、行政からの働きかけが必要でないか。
秋田副議長	今、「釧路市まちづくり基本構想」の制定に向けて準備を進めている。制定されたからといってみんながまちづくりに参加するというわけではないが、一人一人がまちづくりについて考えなければならない。昨日の議会報告会でも「もっと若い世代が報告会に参加できるような工夫を」という要望もあった。情報発信のあり方、発信の相手について、広報くしろ、FMくしろ、フェイスブックページなどで広報しているが、ほかにもっとないのか、個人個人に自分の問題だと捉えてもらい、まちづくりに対する意識を共有できるよう、議会の中でもできることを検討してしっかり取り組んでいきたい。

意見	就学前児童の医療費助成について、30数年前に子育てをしていたときに就学前までの医療費が無料で随分助けられた。ぜひまたこの制度を復活させてほしい。
続木議員	少子高齢化の中、子どもを育てやすい環境づくりが重要であり、釧路市も平成28年8月から3歳未満の医療費を無料にしたが、近隣の町村では釧路町も含め小学校就学前の6歳まで無料としている自治体が多く、釧路市は遅れているという議会議論があった。本会議や委員会の中で理事者から「やります」という明言はないが、相当前向きに検討しているという感触は持っており、できるだけ早い時期に小学校就学前までの医療費を無料にできるように、議会としても取り組んでいきたい。衆議院議員総選挙も終わり、国も保育園や幼稚園の教育費を無償化すると言っており、国の動きとしても子どもを産み育てやす

	い方向に進んでいるのではないか。市議会としても実現に向けて積極的に後押ししていきたい。
--	---

意見	就学前児童の医療費の無償化について、自治体によっては中学生まで無料というところもあるが、そこに住んでいる人に聞くと、お金がかからないからと鼻水を垂らただけで受診する人も多く、小児科がものすごく混むということである。無償化は助かるが、医療の現場についても含めて考えてほしい。
-----------	--

続木議員	無償化が実現すると、それに伴う問題が起こることについてもしっかり考えなくてはならない。釧路市のような小児科が少ないまちはそのような問題も発生すると考えられ、いただいた意見を議会や委員会で伝えていきたい。 国民健康保険料についても、現在は市の管轄だが、来年からは道の管轄になる。これからは医療費を抑制していかなければならない時代であり、ただいまの貴重な意見も反映させていきたい。
-------------	---

質問	外に木の葉っぱがたくさん落ちているのが気になるが、ごみに出していいものかどうか、それとも有効資源として活用する方法があるのか。 また、今林業が国を挙げて育てなければならない産業となっており、スウェーデンと日本の林業は優秀とされているが、市ではどのように取り組んでいるのか。
-----------	---

畑中議員	木の葉っぱは、透明な袋に入れてゴミ収集場所に置いておくと、市が無料で回収してくれる。 林業については、音別地区・阿寒地区で盛んだが、林業の育成のほか、切った木をチップにして活用することにも取り組んでいる。
-------------	---

意見	釧路石炭火力発電所で燃やす木質チップは輸入すると聞いているが、釧路でチップを作れないのか。地元で資材があるのだから、釧路で使うものは釧路でつくってほしい。
-----------	---

続木議員	火力発電所で燃やすのは輸入品の木質チップの予定であり、釧路でつくるチップはほかの事業で活用されている。釧路コールマインの石炭を火力発電所で燃やすことや、火力発電所でつくった電気を地元で活
-------------	---

	<p>用することは地産地消になるが、100%石炭ではなくCO₂をたくさん吸った木材を一緒に燃やすことで環境面の問題もクリアできる。100%輸入と聞いて、地元になんか山があり木があるのにおかしいじゃないかと委員会の中でも質問したが、釧路の山は製紙会社や国有林で押さえられていて使えない、全て断られたという答弁であった。釧路産の木質チップを100%有効活用しているかも含めて調査し、我々も注目していきたいと思うが、山の管理は時間もお金もかかるため、長期的なスパンで見ていく必要があると思う。</p>
--	--

意見	<p>議会報告会について、このような機会は非常に貴重であると思うが、周知が足りているのか、会場に入りやすいかが気になる。今日は10時からの開催だったが、MOOは10時開店なので、10分前に着いたがシャッターがおりていて店舗入口からは中に入れなかった。MOOが開店する前のふらっとへの入口を知らない人もいたので、10時半開始のほうがよかったのではないかな。</p>
松尾議員	<p>MOOの開館時間が10時なのに開始時間を10時に設定したことについて反省している。いただいた意見を来年度の開催に向けて生かしていきたい。</p>

意見	<p>市の「子ども子育て会議」に参加しているが、市自体が何を考えているのか、どういう方向に進んでいきたいのかを知りたくて来た。子どもと、子どもを育てている親や保護者について、どのくらいのウエイトで考えているのか。子育て世代のことだけを考えるのは無理だと思うが、考えないと生産年齢の割合が減少してしまう。</p> <p>「釧路わかもの△カイギ」で実施した18~39歳を対象としたアンケートで「釧路が好き」と回答した人は85%以上、まちづくり基本条例制定の際のアンケートで「釧路に愛着を持つ」と回答をした人は80%以上いるという結果が出ており、社会参画したいという意識を持っているのに、うまくつながらないもどかしさを感じる。</p> <p>行政にサークル等で何か活動したい、学びたいと相談しても「無理です」で終わってしまうが、「その分野であればこういう団体があります」など、行政が橋渡しをしてくれたら、あるいは行政ではなくてもそういう組織があれば、市民同士でもっとつながっていけると思うが、現在そういった機関やシステムはあるのか。</p> <p>社会教育の部分で、さまざまな団体等をつなぐ役割が大事であると思うが、そういう方向性が見えない。民間の方同士がネットワークでつ</p>
----	---

	ながっていると感じるが、行政が異文化同士をつなぐ役割を担ってもよいのではないか。
続木議員	現状は、行政としてそのような役割があるのかないのかわからないくらい機能していない。これから子どもを育てていく世代に対する施策は、市としても重要なものになると考えており、さまざまな団体をトータルでつなげていくのは行政の役割なので、議会の中でもしっかり取り組んでいきたい。また、行政のさまざまな部署同士が連携をとっていけるよう、議会からも働きかけたい。